

火災・車輪脱落・

車体腐食防止のために しっかり点検・整備しましょう。

大型車をご使用の皆さん、
自動車運送事業者の皆さんへ！

日常点検や定期点検をきちんと行っていますか？

日頃こまやかな点検を行っていれば、
運転中のトラブルの多くは回避できます。

毎日安心して運転するために、

しっかり点検しましょう。



車輪脱落

このような事故が起きています。

大型自動車の車輪脱落事故

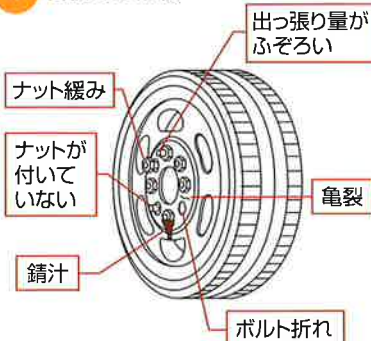
ボルトの折損を伴うタイヤの脱落事故は、平成15年4月以降、令和2年3月末までに783件発生しており、平成20年4月には、東名高速自動車道でボルト折損により脱落したタイヤが対向してきた車両に衝突し、車両の運転者が死亡した事故が発生しています。車輪脱落事故は、ナットが緩む、ボルトが折れる等、必ず予兆があります。日常点検や定期点検をしっかり行ってください。また、タイヤ交換時などの不適切な締付け（強すぎ、弱すぎ）や、誤ったボルト・ナットの使用（アルミホイール用、スチールホイール用の誤用）は、車輪脱落の原因となります。



日常点検

1日1回、運行前に日常点検を実施することになっています。乗用車と比べて走行距離も多いことから、クルマの健康状態をしっかりチェックし、事故を未然に防止するためにも日常点検を行いましょう。

1 目視での点検



2-1 点検ハンマ等を使用した方法



ナットが締る方向に叩く

増し締めの実施

2-2 マーキング等を使用した方法

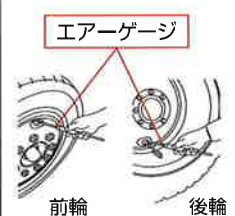


2-3 ホイールナットマーカ―を使用した方法



左右のホイール・ナットが緩んだ状態

3 タイヤ空気圧の点検



締付け後は初期なじみによってホイールナットの締付け力が低下します。50～100km走行後を目安に増し締めを行います。

スリップ

このような事故が起きています。

タクシーのスリップ事故

平成19年7月に、乗客2名を乗せたタクシーが雨のためスリップし、縁石に接触した後、道路脇の信号柱に衝突し、乗客と運転手の3名が亡くなる事故が発生。当該車両の後部タイヤの溝の深さが、道路運送車両法で定められた基準を満足しておらず、これが一因となってスリップが発生した可能性も指摘されました。

